

---

# 鳥が羽ばたく第一歩

たまNEぎ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

鳥が羽ばたく第一歩

### 【Nコード】

N6543P

### 【作者名】

たまNEぎ

### 【あらすじ】

高校受験を控えた少年「進矢」は、どうでもいい毎日に飽きかけていた。そんなとき、彼に転機が来る。彼にとっては厳しい転機だ。

高校に入学した彼はどう生きていくのだろうか。

? 日々(前書き)

はじめまして「たまNEぎ」です。

この小説は、私のふと思いついた設定から広がった話です。

私自身はこのような話を読んだことも聞いたこともありません。

ですから、私自身は誰かの著作権を侵害している自覚はありません。

もし、これ以前に発表された作品で似たようなものがあるならば、  
教えてくださいとありがたいです。

? 日々

? 日々

冬休み。雪がしんしんと降っている中、今日の朝は始まった。外を見てもそんなに積もっていないところを見ると、どうやら今降り始めたばかりのようだ。

八時半。ゆっくり寝るには丁度いいが、学校に行くとなると遅すぎる。

俺、進矢しんやはそんな丁度いい時間に起きた。

学校の先生からは、二学期の終業式のときに『朝早く起きて、規則正しい生活を送ること。特にお前達は受験生なんだから、しっかりと勉強も毎日すること』なんて言われてるが、それを実行している同級生がはたして何割いるのか。

実際、みんなは俺みたいにぐーたらして過ごしているはずだ。あんなときの帰りに友達が言ってた。

高校なんて正直どこでもいい。特にこれといった夢もなく、勉強したいことも見つからない。みんなが行くから、とりあえず俺もどこか高校へ行く。

俺はノー勉でも偏差値五十前後はある。先生に『お前はやればできるんだから頑張つて偏差値いい学校へ行け』って言われたけど、その気になれない。

結局俺はそんな高い偏差値のところへ行く気にはなれず、偏差値五十程度の学校を受験することを決めている。こんな俺でも、バカ高へ行きたくないプライドはあるからな。

ベッドでそんなことを考えながらうとうとしていると、一階から、「進矢、朝ごはんよ。はやく降りてきて」

母さんの呼ぶ声がした。

ふと時計を見るとすでに九時五分前。そんなに経っていたのか。

下に降りてリビングに行くと、すでに朝食は皿に用意されていた。ごはん、目玉焼き、味噌汁、熱いお茶、サケのムニエル、漬物、普通だった。

いつもの朝飯だ。いつものものというのは豪華でもなく、いたって食べやすいという意味だ。別に毎日これが出るわけではない。

それに、母さんはそういうのを嫌う。毎日同じ料理をするのが嫌いで、一ヶ月単位で毎日違った献立を考える。学校の給食みたいだった。

いや、学校の給食は月々金の昼だけだ。母さんは休日と平日の朝、夜も考えているから学校の倍だ。それに、会社でもいい役職に就いているすごい母さんだった。

「美味しい？」

「うん、美味しい」

口にごはんを含みながらたんたん<sup>と</sup>答えた。毎日恒例の質問と返答だ。

「ご馳走様」

パンと手を叩き、俺は朝食を食い終えた。そして、自分の部屋に戻った。

私服に着替えてハンガーにかけてあるジャンパーを羽織った。

今日は約束がある。

「ちよつとタカんち行ってくる」

「隆志君の家？<sup>たかし</sup>わかった。勉強？」

「いや」

そう答えると、母さんは少しムツとして

「この時期に凄<sup>い</sup>余裕だね」

「別にいいだろ」

そう言っ<sup>て</sup>俺は靴を履き玄関を出た。

1センチ程積もった雪は、俺によって足跡を残されながら踏み硬められていく。

タカんちまで歩いて十分程度。

寒いな…。

毎日学校へ行つて5時間勉強し、家に帰ったら飯食つて風呂入つて寝る。

そういう生活に飽きている。だから、こつやつて休みに友達と遊ぶ。夢も何もない俺には丁度いいのかもしれない。

そう思いながら、白い息を吐いた。

? 日々(後書き)

私の初めての小説投稿です。  
暖かく見守ってください。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6543p/>

---

鳥が羽ばたく第一歩

2011年1月9日04時37分発行